人権ふれあいだより

竹原市人権センター
☎２２―７７３６

＜２０２６年（令和８年）１０月５日　発行＞

多文化共生社会をめざして

国際化が進む中、2026年（令和8年）7月1日現在、広島県内に暮らしている外国人は、71，550人（広島県発表）となっています。日本の労働力不足により、今後も増加することが予想されます。地域や職場、学校な様々な場面で、共に生活する機会がますます増えていきます。

外国人が日本で生活するには、「3つの壁（言葉・制度・心）」があるといわれています。自分とは異なる民族・宗教・文化・生活習慣などの違いによって心の壁が生じ、それが偏見や誤った理解につながる場合があります。

（下記の調査結果参照）

多文化共生社会とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」です。様々な機会を通じて、お互いが理解を深め合っていきましょう。

内閣府「人権擁護に関する世論調査」（令和4年8月調査）

あなたが、日本に居住している外国人に関し、体験したことや、身の周りで見聞きしたことで、人権課題だと思ったことはどのようなことですか。☆風習や習慣などの違いが受け入れられないこと【27．8%】

☆就職・職場で不利な扱いを受けること【22．1%】

☆差別的な言葉を言われること【19．5%】

☆職場・学校などで嫌がらせやいじめを受けること【19．1%】

☆じろじろ見られたり、避けられたりすること【18．8%】

☆アパート等への入居を拒否されること【12．5%】

※人権ふれあい講演会（１０月４日）のご来場、ありがとうございました。学んだことを日常生活にぜひ、生かしていただくことをおねがいします。

※人権ふれあいパネル展のご来場をお待ちしております。

日時・・10月1日（木）～15日（木）9時～16時（土・日は閉館）

場所・・吉名地域交流センター　1階会議室

内容・・「ガザのこどもたちが描いた、平和を願う絵」

ガザのこどもたちの「日常を取り戻したい」という切実な願いにぜひ触れていただき、平和について考えていただければと思います。

多様性　認め合おう　みんなが笑顔

〈2025年（令和7年）人権標語入選作品　義務教育学校5年

リボン運動について知ろう



【ゴールドリボン運動】ゴールド色のリボンを輪状に折って身につけることで、支援の意思表示をします。

小児がんに対する社会の理解を深め、小児がんと闘うこどもたちやその家族を支援するための世界共通の啓発活動です。

こどもたちは、みんなの宝です。「金が炎の試練を経てより強くなる」ように、こどもたちが病気を克服し強く生きてほしいという願いが込められています。啓発については、小児がんに関する正しい知識や、治療後の後遺症の理解を広げる取り組みを行っています。また、支援活動としては、患者とその家族への交通費や奨学金の補助、病院内の学習環境の整備、オンライン医療相談などが実施されています。

たけはら男女共同参画セミナー

日時　１０月９日（金）
　　１４：００～１５：３０
場所　竹原市役所　３階大会議室
演題　男女共同参画の現在地とこれから　～アンケート結果と最新動向から考える竹原市の課題～
講師　内閣府男女共同参画会議
　　暴力専門調査会委員
　　広島大学ハラスメント相談室
　　准教授　北仲　千里　さん
　　（きたなか　ちさと）

竹原市人権教育推進協議会 就学前教育部会講演会

日時　１０月２３日（金）
　　１８：３０～２０：００
場所　竹原市人権センター
演題　「こども虐待の発生要因と対応」
講師　県立広島大学保健福祉学部
　　教授　松宮　透高　さん
　　（まつみや　ゆきたか）

困ったときは、一人で悩まないで相談してください

☆人権相談　差別・いじめ・いやがらせ等
・竹原市人権センター　　☎２２－７７３６
　（月～金　午前８時３０分～午後５時１５分）
・人権擁護委員による相談　毎月第３水曜日　午前９時～１２時
　竹原市人権センター（予約不要）

☆DV相談　配偶者、恋人等からの暴力
・竹原市 DV 専門相談窓口　（竹原市人権センター内）
　☎２２－７７４８（月～金　午前８時３０分～午後５時１５分）



緊急の場合は110番へ

１０月行事・教室の予定

☆着付教室	５日・２６日	午後１時００分～
☆パソコン教室	６日・１３日・２７日	午後７時３０分～
☆カラオケ教室	毎週木曜日	午後１時３０分～
☆はんこクラブ	毎週金曜日	午後１時３０分～
☆人権ふれあいパネル展	１日～１５日	午前９時００分～午後４時００分